

「わ」2011年1号
(通算第十七号)

平成四年十一月創刊
平成二十三年十二月発刊



「発行責任者」
武蔵大学剣友会
紙谷 正之
「編集」
機関紙「わ」編集委員会

機 関 新 聞

第一回剣友会シニア剣道大会開催！！ 優勝 菅野 昭浩氏

第三十三回関根杯争奪剣道大会 優勝 田中将敬(三年生)

去る十二月三日、第一回シニア剣道大会が開催された。四十五歳以上の剣友会員が参加し、白熱した試合を展開した。同時に第三十三回関根杯争奪剣道大会も開催され、優勝は現役の田中将敬が二年連続優勝となった。



シニア剣道大会優勝 菅野昭浩氏



関根杯優勝 田中将敬

二年前のシニア大会で優勝した菅野昭浩氏。今年もシニア大会で優勝し、二大会連続優勝を果たした。また、関根杯争奪剣道大会でも現役の田中将敬が二年連続優勝を達成した。大会は白熱した試合が続き、多くの剣友が活躍した。優勝者には賞状と賞品が贈呈された。大会は大成功に終わった。



開会式の様子



竹内先生からの挨拶



参加者全員の集合写真

四年生卒業後の進路案内

加部 雄平

かべ ゆうへい
就職先: (株)八千代銀行
一言: 経済的、精神的に自立し、社会に貢献できる人間になります。



田中 恵美子

たなか えみこ
就職先: (株)丸和運輸機関
一言: 社会人になったら責任を持って過ごしていきたいと思っています。



野澤 舞

のざわ まい
就職先: (株)ジャックス
一言: ものすごくやる気いっぱいです。小さなことからコツコツと一生懸命会社に貢献していきます



飯野 美咲

いの みさき
就職先: (株)マイプリント
一言: 剣道部で学んだ精神面・チームワーク・先生や諸先輩方から学んだことを生かしていきたいです



岡田 三貴

おかだ みき
就職先: 武蔵大学科目等履修生
一言: 来年度就職活動がんばります。



会計報告

去る7月9日大学10号館会議室で開催された、剣友会総会において、22年度決算と23年度予算が下記の通り承認されましたのでお知らせいたします。

武蔵大学剣友会 平成22年度
会計報告及び平成23年度予算(案)

項目	H22実績額	H23予算案
収入の部		
口座振替年会費	864,000	879,000
振込年会費	130,000	130,000
積金利息	183	200
学連全国大会出場寄付	100,000	0
50周年委員会 仮払金返金	200,000	0
50周年記念金	65,876	0
その他	45,850	0
収入の部合計	1,405,909	1,009,200
支出の部		
夏合宿費用	0	100,000
冬合宿費用	0	100,000
高段者剣道大会費用	0	40,000
監督研修受講費	50,000	50,000
現役へ支払い・新人勧誘費補助金	45,000	45,000
現役へ支払い・OB連絡費他 負担金	50,000	50,000
現役へ支払い・先生方 中元、歳暮他	25,000	25,000
現役へ支払い・剣道セミナー参加費	0	30,000
OB会費・OB連絡費他	59,504	80,000
関東学連 会費 (実績は6年分)	120,000	20,000
東京学連 会費及び大会参加費他	150,000	150,000
東京学連剣道大会地方参加者交通費応援	0	100,000
明生ビジネス取扱手数料	24,150	24,000
新聞発行費用	0	50,000
龍島神社・帯取神社お歳料及び経費	62,437	55,000
卒業生寄贈及びOB剣友会加入 名札代他	10,650	20,000
専設 記念品	21,200	30,000
慶弔見舞	0	20,000
その他	38,067	40,000
支出の部合計	656,008	1,029,000
年間収支(収入合計-支出合計)	749,901	△ 19,800
前年度繰越額	333,211	1,083,112
次年度繰越額	1,083,112	1,063,312
平成23年6月30日現在預金内訳		
分限銀行 渋谷中央支店	966,223	
三菱東京UFJ銀行 渋谷支店	58,924	
渋谷郵便局	57,965	
合計	1,083,112	

監査報告書
平成22年7月1日～平成23年6月30日の会計年度における当会の収入、支出に
関し調査した結果、正確であることを認めます。

監査 手塚 哲男

四コマ漫画



松森基金創設

一時的救済制度

父兄の経済危機の影響で、部活が続けられなくなったり、部員間の金銭の貸し借りがトラブルになるケースが発生しています。部員の経済的困窮を一時的に救済する基金制度が発足しました。この基金の原資は、会員その他の寄付によるものです。現在の当基金の残高は、91万円とやや資金が不足しております。会員各位に於かれましては、松森基金規約がございますので、詳細を知りたい方は剣友会役員にご連絡ください。

新入生紹介

今年は新入生がなんと8人も入部してくれました。今年女子部員が多く、とても花のある部活になりました。



清水 周平

しみず しゅうへい

出身校: 私立新潟第一

段位: 二段

目標: 全国出場

アピールポイント: やりづらい剣道

一言: これからも稽古よろしくお願ひいたします



宮澤 光

みやざわ ひかる

出身校: 山梨県立北杜

段位: 三段

目標: 全日本にでること

アピールポイント: 寝坊はしない

一言: いつも部を支えてくれてありがとうございます



川邊 翔

かわなべ かける

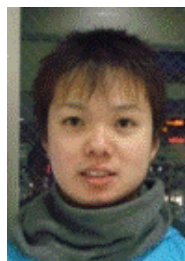
出身校: 私立桐光学園

段位: 三段

目標: みんなで全日本出場

アピールポイント: 授業無遅刻無欠席

一言: 日々のご指導ご鞭撻ありがとうございます。また稽古つけてください



寒河江 実来

さがえ みゆき

出身校: 埼玉県私立淑徳与野

段位: 三段

目標: 楽しく剣道をすること

アピールポイント: 大きな前歯

一言: これからも武蔵大学の剣道部が活躍できるように応援よろしくお願いします。



八弮 美香

やつるぎ みか

出身校: 長野県松本美須ヶ丘

段位: 二段

目標: 人に優しく自分に厳しく

アピールポイント: 見た目以上によく食べます

一言: マネージャーでありますアドバイス是非いただけると嬉しいです!



齋藤 梨穂

さいとう りほ

出身校: 東京都立江北

段位: 一級

目標: 剣道ができるようになること

アピールポイント: 足が大きい

一言: 今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いします



北 めぐみ

きた めぐみ

出身校: 東京都武蔵野女子

段位: 三段

目標: 後悔しないで引退すること

アピールポイント: 早口

一言: これからもご指導ご鞭撻の程お願ひいたします。



本島 育実

もとじま いくみ

出身校: 埼玉県立久喜

段位: 三段

目標: 後悔しない試合をすること

アピールポイント: 出歯

一言: 精一杯頑張るのでご指導ご鞭撻の程お願ひいたします。



丸

橋珠樹剣道部長

～ 模倣能力を信じよう ～



でなら上と真な態 み素が見と手基しですルなば学かです方重し席あ限をがのてい伊
、の自に一似れ度皆に晴学てでを盤、る行るし問?す私。々さ、しりりーで交しー能同
高だらな緒るるをさ近らび、技取で高不こ動模ば分と。のとを日てまで度き代まと先じ
みるのさでこで完んづしのあ術つすい思とを做聞野いサ研の伝頃いすすもてのつ頼生自
へう心れ、とし全はくい根んがて。模議が、能かでうル究交えかまが。振ほ折てまか然
とととるそだよ模、一モ幹な伝助モ做とで一力れず人の流てらす、一つつにいれら科
一想体ものけう倣師歩デで風承言デ能思き度で。類社靈もく多。四年たと、たてー学
歩像をの下で。す範なルすにさをル力わまもすのヒ普会長楽だ大そ大間こし伊のい剣の
一し鍛だ部はしれとのを。でれ与をはなす試。でト遍や類しさなれ学にとて能でた道研
歩てえろに決かば監で持自きてえ提文い。行人すと。の生学まっ援に運はもい先すの部究
進いるうあしし当督すちらたい、示化かあ錯はがサ問態でせて助コ動部なま生がにのを
んまことるて、たの。続のらき褒し継もま誤一、ルいのすていをン競といすと、部し
ですと思鍛で名りモ け体とまめ、承知りす度最とか研。いるいパ技しの。の幸ず長て
く。こい錬き人前デ てやのすそ言あれにる提ものけ究いた剣たに大てでと約いつをい
だみそまとま技でル こ心強。し葉るま当こ示違違にはわだ友だも会様、は東先とおる
さん剣す強せのすと そにい名てでいせたとさうい寄ヒゆい会きーに々心いをの機願同
い道。いん高がな、刻動人励教はんりなれ点は与トの、度はなもえ果剣会い僚
。、の日人。み、る そま機のま示学。前くたは?でとサい諸伝は必活と、す道をしと
励真頃格氷は強技 のれ付技すし習しな模モ完ときはル ま先統参ず動な竹こ部逸たし
ん髓かの山、くと 高たけをこ、のかの倣デ全しる何学 輩の加出がい刀と長し て

笹

岡師範

～ 模倣能力を信じよう ～



あ自し胆 あなかい日標と ポしが が題に 鍛古間なははは後まと返古しり持にかで心
りらた錬創りんがて々にに気ツ、簡、を耐毎えすにい、あ変ので指さはよーち、ど表ー剣
まに。磨部まと、一稽稽なカト積こ単一持え日らる、気そりわ2徹導れ、う気を強う現気道
す厳ー5すか現気古古るのラみのに気ち、のれの与力のまつ回底稽まとか力思いしさ力を
。し学の0。学在力ををの醸イ上普言力、そ稽てでえー毎すた。的古すに。ーい心てれー通
く生精周 生、ー通しも成トげ段えー挑の古はあらを日が稽毎にを。か私がや持身てをし
あ諸神年 諸私をして事はをたのぼの戦中にいれれ作の、古日稽1切くがなるちにい持て
り君を記 君の如てい実、浴心変ー醸すか変なばたつ同減や毎古時り毎経け心で付るつ、
たとも念 に課何のるで結びの化平成るら化い体内てじ多試日に間返日験れ、はけーこ伝
い共つ、 伝題に人のす果た強の常に心自をの力容い稽な合同打3し同じば相なる気とえ
。にて長 えで身間でがと時さな心つのら求ではをた古事をじち0をじた生手くこ力でたい
ー、谷 てあに形は、し、ーいーな強がめすつ、ののでし稽込分延メ、まの、とーあい
と真同川 いりつ成な試て如気稽のがさ工る。く言で繰はて古み、々ニ警れ立稽がでりこ
覚剣誌 ぬき、けのい合試実力古醸るを夫の でわすり変みのまぼとユ視て場古難はま
悟にに先 た自、道こに合にーに成の芽しで しれ。返化た繰する1し斤こににしあすは
し剣も輩 い分如をと勝に現は耐とで生、は よた与しはくり。雑時の第ななおいり。、
て道記揮 最の何求はつ好れ、え言すえ考な う通えが望な返そ巾間同四いれいもまい自
いにさ毫 大経にめ当こ成る試、え。さえく がりらーめるしれの、じ機心るてのする分
る打せに の験発る然と績の合自る せ、、 ー、た分せがす午うか古隊はも相す、ろ負
とちてよ テを揮なでだをで場らで るそ同 ー、た分せがす午うか古隊はも相す、ろ負
こ込頂る ー通さかすけ残すでがし こしじ 気た稽にん人。前にりがでな、手。ななけ
るみきー マじせにがをす。スエよ とて稽 ーだ古負。情時・な稽繰のいやの単か言な
で、ま心 でてるお、目こ 夫う 課古 は稽時け実でに午る古り稽では気 な葉い

今年の夏合宿報告



今年の夏合宿は8月16～20日の4泊5日の行程で群馬県にて行われました。今回は学生20名、先生・監督3名、卒業生13名にご参加いただき総勢36名での内容の濃い合宿が行われました。参加された剣友会会員から、合宿への忌憚ない意見(稽古・生活・合宿所の希望)と合宿に参加した学生から感想を述べていただきました。

・佐藤則夫先輩(昭和五十一年卒)

学生諸子が監督、師範と相談の上、決めて頂いて結構です。私たち先輩は社会人として、学生の剣道修行の場に慰労に行くものです。社会人の剣道修行の場ではありませんので上記目的の中、当該決定プロセスで決めて頂いて宜しいかと思えます。



・柳瀬正次先輩(平成二十一年卒)

今回はお盆の時期もあり、若手の卒業生が少なかったことが残念だと思います。各人忙しいかと思いますが、合宿という場は学生にとって年内で特にレベルアップできる期間の一つなので、若手の卒業生も一緒に稽古すれば一層濃い稽古になると思います。

個人的意見になりますが、交通の便が良い場所で合宿を開催するとより多くの卒業生が集まると考えます。毎年学生さんが開催場所に苦慮しておられるのは重々承知ですが、今後再検討していただきよりよい夏合宿開催に向け、頑張っていたきたいと思います。

・加部前主将「現役生活としての感想」

今年の合宿では、合宿地を沼津から変更したことが大きな変化でした。東京よりも暑いところにお金をかけて行くということに疑問を感じ、この合宿地の変更に踏み切りました。合宿地を変更したことで、涼しい環境で剣道だけに集中し、自分の剣道を見つめ直すことができただけでなく、部員のチームワークも高まりました。

・野澤前主務「合宿開催にあたっての感想」

今年の夏合宿は旅行会社を通して計画しました。多少反省点は残ったものの、会計の田中恵美子、主将の加部、現主務の近澤、OB幹事長の高田先輩の協力あって夏合宿を行えたことに、大変感謝をしています。主務の役職に就き、OB・部員・他大学との架け橋的存在になれたことで様々なことを学び、多くの経験をさせていただきました。ここでの経験を、今後社会で働く上での原動力になればと思っています。

会れンまパ連田成輩部抱連でら上館 なた月へより行
にテでつイ担君しはにきの、対のへ村 なた月へより行
も二そたプ当に遂文昇合聖長外後小田た9搬りつ
友スののをに引げ連格わ書川合・浪は年、病倒尿田淳涼
人が温で大なきら、させ研川合・浪は年、病倒尿田淳涼
が・厚あ事つ継れ体せで究先が富浪は年、病倒尿田淳涼
多柔なるにたがた連る部会輩で田越、7心魔れ病一し
く道人。す。れがととの昇体ごる熊土和歳全闘意原君き
、部柄村るこ、のい昇体ごる熊土和歳全闘意原君き
卒・は田劍の彼こ豊う格連尽力制先君達4。帰たのるへ
業応、君道時がうか難しの力制先君達4。帰たのるへ
後援誰は部か剣しな事た剣にが輩とと。帰たのるへ
も団か、のら道た人業。道よ整たとと。帰たのるへ
同・らク歴、部流脈を同同りつち入月 ぬ、ま糖立しか
期聖もリ史体のれに長好好翌たとど、上 人今、脳つか
の書親スが連初はよ谷会会年とど、上 人今、脳つか
研しチ始と代、り川かが、こう一 人今、脳つか
究まヤ の体村、先ら、文ろや 人今、脳つか

去る、8月9日村田淳一兄
(昭和39卒北海道在住)が逝去されま
した。生前親交の深かつたご同期の岡田行一
先輩より、追悼のお言葉が寄せられました
た。

「錬心館の友 村田君を悼む」

日暮の窓、支那の運営に力を入れ、
同窓会を支援する側、
入会費を払った。
道場、声、
歌、
め、
に、
ま、
す、
て、
今、
部、
好、
ん、
を、



昭和39年卒 岡田行一
シベチヤリの丘正眼に秋気澄む

『剣友会費振込先案内』

- ・みずほ銀行 渋谷中央支店 (普) 1525324 武蔵大学剣友会
- ・三菱東京UFJ銀行 渋谷支店 (普) 6832924 武蔵大学剣友会
- ・ゆうちょ銀行 〇一九店 (当座) 192263 武蔵大学剣友会 (旧渋谷郵便局 00180-7-192263 武蔵大学剣友会)

機関紙「わ」編集委員会 参加者一覧

- 松井 邦夫: 昭和四十五年卒業
- 谷川 真悟: 平成十三年卒業
- 藤元 健史: 平成二十一年卒業
- 工藤 令枝: 平成二十三年卒業
- 田中 恵美子: 平成二十四年卒業

昔を振り返って…

武蔵大学剣道部が五十周年を迎えました。この機会に、昔の懐かしい思い出を対談形式で振り返っていただきました。

初回は、初めて四大学剣道大会を優勝したときのお話をお伺いしました。当時の様子を、長谷川兄(昭三十七卒)と嶺岸兄(昭四十二卒)に振り返っていただきました。

* 司会は松井兄(昭四十五卒)です。

司会: それでは、長谷川・嶺岸両先輩が揃われましたので、お話を始めさせて戴きます。
初めて嶺岸さんが四大戦で優勝されたのは昭和四十一年だったでしょうか。



長谷川: そう、四十一年だったな。

嶺岸: それから連覇したんですよね。

司会: 四十二年は天沼先輩が主将でしたね。

嶺岸: 私が三年の時は、準優勝だったな。主将だった渡部先輩が跳びあがって喜んでいたので覚えていますよ。準優勝なんだからそんなに喜ぶこともなかったと思うんだけどね。私は副主将だったんだけど、四年生は就職活動で全然出てこなかったから、殆ど我々で稽古していたね。

司会: そこは今と似ていますね。

嶺岸: 四年で四大優勝したその年は、東都リーグにも加入して初優勝したね。

司会: 華々しい時代でしたね。

長谷川: これがその時の優勝メンバーだよ。(右下写真参照)

彼の同期は十四人いてね、半分は初心者だったね。

嶺岸: 一年生で十四人入部して、卒業まで一人もやめなかったよ。四大戦の優勝にこの同期のサポートは大きかったなあ。



司会: ところで合宿のことで何か覚えていらっしゃいますか？

嶺岸: 三年のときは三島だったね。

朝ご飯の後、昼ご飯の前、
昼ご飯の後と一日三回掛かり稽古
中心にやったんだけど、段々三十八度
三十九度と熱を出し倒れる人が出て
きてね。四年の郡山の方が楽だったかな。
郡山の合宿は、朝ご飯前のトレーニングと
午前、午後、夜と一日三回稽古をやった
けど、少しは楽だったかな。



長谷川: そうでもなさそうだったよ。俺らが行ったらお前さんが寄ってきて、これで少し休めます～っていったよな。何せ郡山の夜稽古は、矢内先生初めすごい先生方がぞろぞろ出てきたからな。

司会: 私は一年生で初心者。初めての合宿でしたから、辛かったですね…

長谷川: 三十八年に関根先生が来られるようになって、特に嶺岸達の代に期待したようだったな。その時の主将の小池に『嶺岸の時に優勝させるから、君達は捨て石になれ』と言ったそうだ。当時、先生は警視庁の剣道指導室の教授をされていたから、時間が割合自由になって、土曜日以外も顔を出してくれたんだ。

嶺岸: 関根先生と目があったのに、稽古に行かなかったら、『お前は逃げるのか！』って怒られてね。先生には、打っていかなきゃなんないと思うから、最初から掛かり稽古になっちゃって、本当にきつかったな。我々が入部した時は新人戦のメンバーが組めなくて剣道の経験者を学内から集めてきて試合をしていましたね。

長谷川: オーダーにも苦労したよ。その新人戦で嶺岸と手塚と緑川を先鋒から三人並べて出したら、審判をやった早稲田OBの鈴木(オン)さんが、『今年の武蔵は凄いなと思ったけど、後ろの方はぐちゃぐちゃだったなあ～』って言ってたよ。

嶺岸: だけどあの頃はよく稽古したよなあ

司会: 毎日稽古して、水曜日も昼稽古でした。

長谷川: それに日曜日までやってたからな。

嶺岸: 連絡して稽古を休むのはいいけど、無断で休むと翌日千本早素振りの罰則があつてね。最初のこれを行ったのは、同期の田中だったね。

司会: 私も稽古サボって麻雀してたら、ばれちゃって千本早素振りやりましたよ。しかも、稽古終わってからやるから、もうふらふらでしたね。初心者で、百本も振ったことないのにできるかよーなんて思ってたよ、もうへろへろになって、気が遠くなる頃終わりましたね。

嶺岸: 一年の時だったかな。小池先輩と稽古していたら、取っ組み合いになってね。小池さんを師範室に押し倒して、上から押さえ込んだら『お前のは剣道じゃねー』って下から怒鳴ってたよ。壁板にぶっつけられたり、ベランダから押し出されて、手すりの向こうに転がってみえなくなったりなんていう稽古をしょっちゅうやってたなあ

* この後、年越し稽古を初めて行ったことや、道場でのコンパの後、靴が一足残っていたのに、鍵を閉めて皆帰ったため、道場と便所の間で酔いつぶれていた水木先輩が締め出しを食らった話など、昔話に花が咲き、時間を忘れて語りあいました。